

株式会社 太知ホールディングス
TAICHI HOLDINGS LIMITED
<https://www.anabas.co.jp>

〒110-0005 東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階
お問い合わせ先: 電話03-5846-7211 FAX 03-5846-6639

取扱説明書

MILL & MIXER

ミルミキサー

MM-10

本製品は家庭用として作られており、業務用には使用出来ません。室内での使用に限ります。

日本国内専用
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは本品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

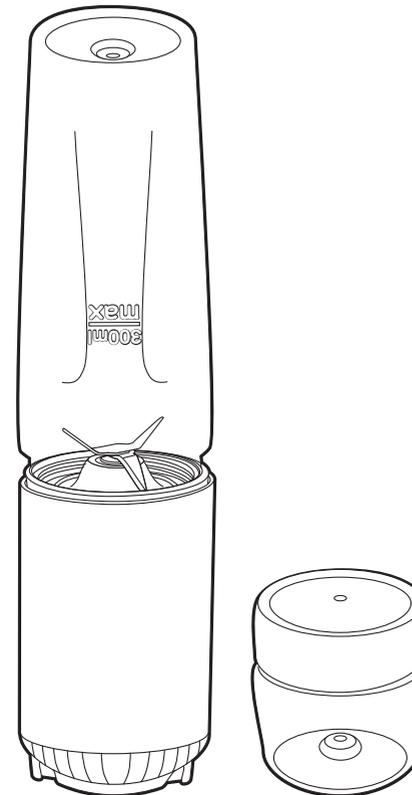
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときにすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

保証書に、お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをご確認ください。

目次

- 安全にご使用いただく為に 2~4
- 各部の名称とはたらき 5
- ミキサーの使いかた 6~7
- ミルボトルの使いかた 8~9
- ミキサーおよびミルボトルを使ったレシピ 10~11
- お手入れのしかた 12
- 故障かな?と思ったら 13~14
- 仕様 14
- 保証とアフターサービス 15
- 保証書 16



安全にご使用いただく為に

この製品は、家庭用です。業務用には使用しないでください。
ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明



危険

「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと」を示します。



警告

「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。



注意

「取扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明



禁止

○は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



警告



プラグを抜く

発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



確実に差し込む

電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



プラグを抜く

電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、ぬらさない

火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。



警告



禁止

次のような場所では使わない

- ・風呂場など、水がかかったり、湿気が多い場所
- ・雨、きりなどが直接入り込むような場所
- ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
- ・ほこり、油煙の多い場所
- ・振動の強い場所
- ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
- ・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
- ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所

火災・感電の原因となります。



つぎのことを守る

電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る

- ・傷つけない
- ・延長するなど加工しない
- ・加熱しない・引っ張らない
- ・重い物を載せない・はさんだりしない
- ・無理に曲げない・ねじらない
- ・束ねたりしない

守らないと、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気が多い場所に置いたり使用したりしない

火災・感電の原因となります。
海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



ほこりをとる

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。



禁止

カッターに直接手を触れない

けがをする恐れがあります。



禁止

子どもだけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない。
子どもや幼児の手の届く場所には保管しない

けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

調理時にその場を離れる時は電源プラグをコンセントから抜く

他の人がさわったり、けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で、ボトル・カッターに手・ヘラ・スプーンなどで触れない

けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

使用後は、電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

免責事項について

- ・地震、雷、風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意又は過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・内容に関しては、将来予告なく変更する場合があります。

安全にご使用いただく為に

⚠ 注意

-  ボトル・ミルボトルを火にかけたり、電子レンジ・オーブンなどで使わない
禁止 破損して、けがの原因になります。
-  熱い材料はボトル・容器に入れない
禁止 破損して、けがの原因になります。
-  空回ししない
禁止 本製品が破損する恐れがあります。
-  調理以外の目的で使わない
禁止 本製品が破損する恐れがあります。
-  調理材料が多すぎたり、その他の原因で動作が止まった時は、そのままの状態を使わない
禁止 本製品が破損する恐れがあります。
-  業務用として使用しない
禁止 故障の恐れがあります。
-  付属している専用部品以外は使用しない
禁止 故障の恐れがあります。
-  氷や冷凍されたものなど、固い調理材料を使用しない
禁止 カッターが欠ける場合があります。
-  ボトルに定格容量(300ml)を超える液体・食材を入れない
禁止 ふきこぼれ、故障の恐れがあります。

-  ねばり気の強いものを使用しない。粉類を使用しない
禁止 本製品が破損する恐れがあります。必ず液体と一緒に攪拌してください。
-  カッターが完全に停止するまでは絶対に容器フタを開けない
禁止 けがをする恐れがあります。
-  1回の動作は連続1分以上行わない
禁止 故障の恐れがあります。
-  ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきん・漂白剤をよごれ落としとして使わない
禁止 本製品に傷がつく恐れがあります。
-  40℃以上の熱い湯や食器洗浄機・食器乾燥機は使わない
禁止 本製品が破損する恐れがあります。
-  不安定な場所では使用しない
禁止 落下してけがをする恐れがあります。

使用上のお願い

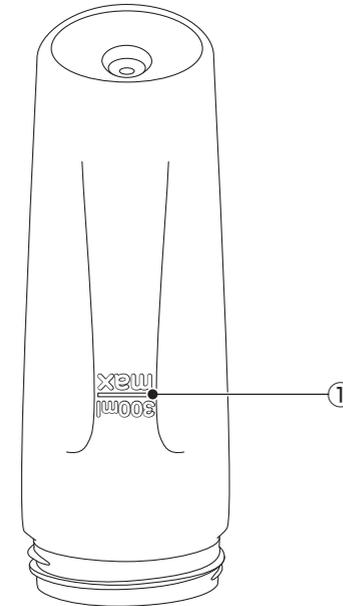
次のものは使用しない

- ・ 2cm角および30gを超える氷
- ・ 40℃以上の材料
- ・ 2cm角を超える大きい食材
- ・ 硬い食材、繊維質の強いもの(鰹節、生姜など)
- ・ 肉・魚類
- ・ 水分の少ないもの(ゆでたジャガイモなど)
- ・ 粘りの強い食材(長いも、納豆など)

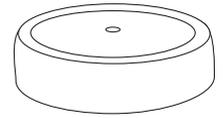
※ 冷凍された食材は、半解凍してからご使用ください。

各部の名称とはたらき

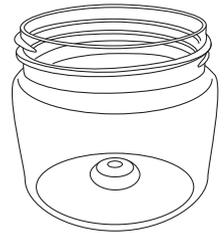
ボトル



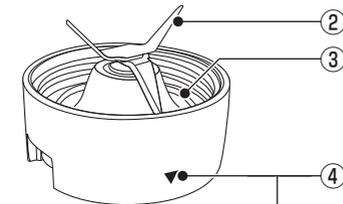
キャップ



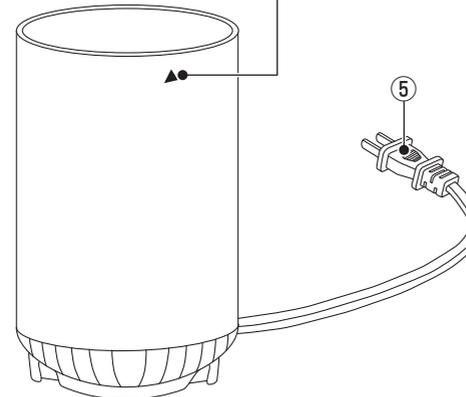
ミルボトル



カッターホルダー



本体



取扱説明書



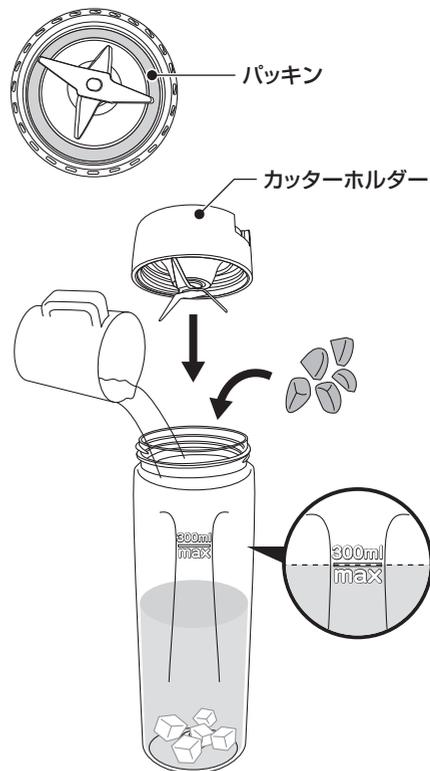
- ① 水位線
- ② カッター
- ③ パッキン
- ④ 結合位置マーク
- ⑤ 電源プラグ

ミキサーの使いかた

最大動作時間は1分です。※次の使用まで5分程度休ませてください。

1. 準備をします。

- カッターホルダーにパッキンが取り付けられていることを必ず確認してください。また、ゆるみや隙間がなく、しっかりと溝に取り付けてあることを確認してください。



2. ボトルに食材を入れ、カッターホルダーを取り付けます。

- 食材はすべて2cm角以下の大きさに切って入れてください。
氷をご使用の場合は、2cm角以下のものを30gを超えない程度にして入れてください。
- 食材は「氷」→「水分の少ない食材」→「柔らかい食材・水分の多い食材」→「液体」の順で入れてください。

注意

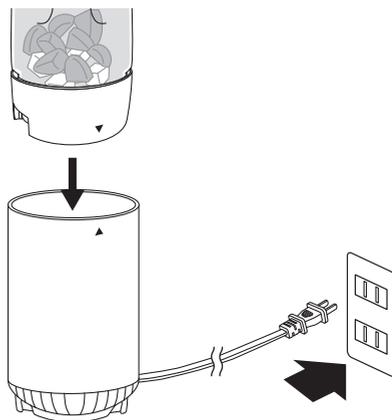
- ボトルに入れる食材は、液体を含めて最大容量300ml(Max)以下にしてください。
- 水ものを調理する場合、容器のサイズより水流が高くなり、あふれる事があります。
- 繊維質の多いものや水分量が少ないとボトルの中で食材がつまりやすくなります。量を調整するか、運転を止めて電源を抜き、竹串などで直接手でカッターに触れないよう取り除いてください。

3. 本体を安定した台の上に置きます。

4. ボトルを逆さにし、「▲」「▼」の位置に合わせて本体をセットします。

注意

- ボトルにカッターホルダーをしっかりと取り付けないと、ボトルを逆さにした時に食材(液体)が漏れる可能性がありますので、十分注意してください。



5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

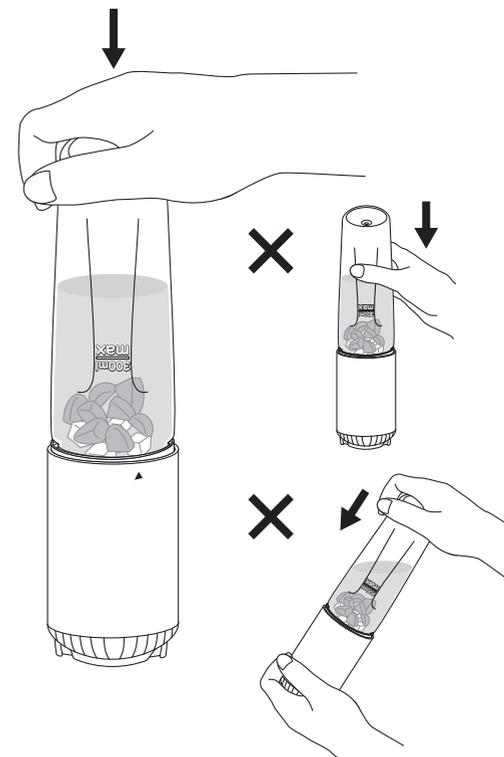
- 電源プラグをコンセントに根元までしっかり差し込んでください。

6. ボトルを押さえて攪拌します。

- 運転する時は、ボトル全体を真上から押してください。
- はじめは1秒間隔で数回押しを繰り返してください。食材が粉碎されることにより攪拌しやすくなります。
- カッターが空回りしている時は、ボトルを一旦外してボトルを軽く振るなどして、食材を落としてから再度攪拌してください。
- 食材が多すぎたり粘り気が強いために運転しない場合、また途中で止まる場合はボトル内の食材を減らしてください。

注意

- ボトルの横や斜めから押すと、本体とカッターホルダー裏側の結合部分がかみ合わず、部品の破損や故障の原因となります。
- 結合部分の位置がずれると押しにくい場合があります。結合位置を確認して再度押してください。
- 1分以上の運転はしないでください。
- 動作時間内で連続して使用の場合は、5分程度間隔を空けてからご使用ください。



7. 攪拌を止めます。

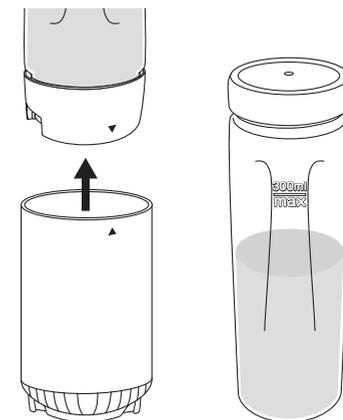
- 材料が好みの状態になったら、ボトルを押さえる手を離します。

8. ボトルを本体から取り外します。

- 電源プラグをコンセントから抜いてカッターの回転が完全に停止してからボトルを本体から外してください。
- 保存・持ち運ぶ場合は、キャップを使用してください。

注意

- 回転中にボトルを外すと、本体とカッターホルダー裏側の結合部分が削れ、部品の破損や故障の原因となります。

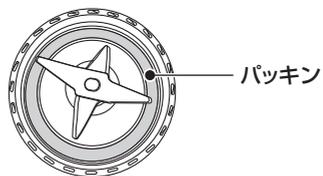


ミルボトルの使いかた

最大動作時間は1分です。※次の使用まで5分程度休ませてください。

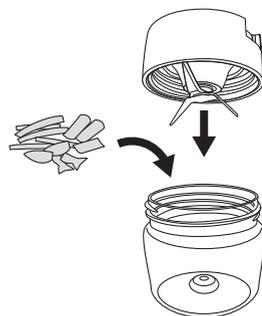
1. 準備をします。

- カッターホルダーにパッキンが取り付けられていることを必ず確認してください。また、ゆるみや隙間がなく、しっかりと溝に取り付けてあることを確認してください。



2. ミルボトルに食材を入れ、カッターホルダーを取り付けます。

- 食材はすべて2cm角以下の大きさに切って入れてください。



注意

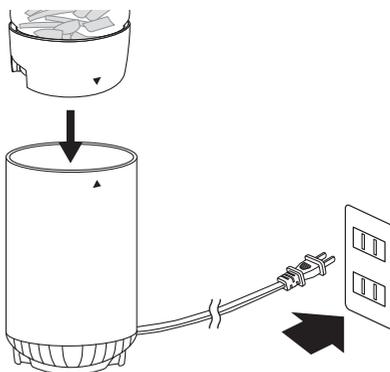
- ミルボトルは乾燥物用の調理器具ですので、水分を含んだものは調理できません。

3. 本体を安定した台の上に置きます。

4. ミルボトルを逆さにし、「▲」「▼」の位置に合わせて本体をセットします。

注意

- ミルボトルにカッターホルダーをしっかりと取り付けないと、ミルボトルを逆さにした時に食材が漏れる可能性がありますので、十分注意してください。



5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源プラグをコンセントに根元までしっかり差し込んでください。

6. ミルボトルを押さえて攪拌します。

- 運転する時は、ミルボトル全体を真上から押ししてください。
- はじめは1秒間隔で数回押しを繰り返してください。食材が粉碎されることにより攪拌しやすくなります。
- カッターが空回りしている時は、ミルボトルを一旦外してミルボトルを軽く振るなどして、食材を落としてから再度攪拌してください。
- 食材が多すぎて運転しない場合、また途中で止まる場合はミルボトル内の食材を減らしてください。

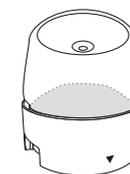


注意

- ミルボトルの横や斜めから押すと、本体とカッターホルダー裏側の結合部分がかみ合わず、部品の破損や故障の原因となります。
- 結合部分の位置がずれると押しにくい場合があります。結合位置を確認して再度押ししてください。
- 1分以上の運転はしないでください。
- 動作時間内で連続して使用する場合は、5分程度間隔を空けてからご使用ください。

7. 攪拌を止めます。

- 材料が好みの状態になったら、ミルボトルを押さえる手を離します。

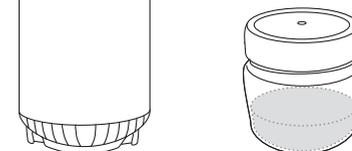


8. ミルボトルを本体から取り外します。

- 電源プラグをコンセントから抜いてカッターの回転が完全に停止してからミルボトルを本体から外してください。
- 保存・持ち運びする場合は、キャップを使用してください。

注意

- 回転中にミルボトルを外すと、本体とカッターホルダー裏側の結合部分が削れ、部品の破損や故障の原因となります。



ミキサーおよびミルボトルを使ったレシピ

ミキサーレシピ

ジュース類

●トマトジュース

【材 料】トマト 150g／水 50ml／塩 ひとつまみ

【運転時間】約15秒

【作 り 方】トマトはヘタを取り除き、2cm角にカットします。
水、塩と一緒にボトルに入れてブレンドします。

●バナナジュース

【材 料】バナナ 150g／牛乳 100ml／はちみつ 適量

【運転時間】約15秒

【作 り 方】バナナを薄切りにし、牛乳、はちみつと一緒にボトルに入れてブレンドします。

●リンゴジュース

【材 料】リンゴ 130g／水 75ml／はちみつ 適量

【運転時間】約25秒

【作 り 方】リンゴの皮をむいて芯を取り除き、1cm角にカットします。
水、はちみつと一緒にボトルに入れてブレンドします。

スムージー類

●リンゴ、バナナ、小松菜のスムージー

【材 料】リンゴ 50g／バナナ 50g／小松菜 1株／水 100ml／はちみつ 適量

【運転時間】約25秒

【作 り 方】リンゴは皮をむいて芯を取り除き、1cm角にカット、バナナは薄切り、小松菜は2cm長さに切ります。
リンゴ、バナナ、小松菜、水、はちみつの順にボトルに入れてブレンドします。

●グリーンスムージー

【材 料】リンゴ 50g／バナナ 50g／ほうれん草 1株／水 100ml／はちみつ 少々

【運転時間】約25秒

【作 り 方】リンゴは皮をむいて芯を取り除き、1cm角にカット、バナナは薄切り、ほうれん草は3cm長さに切ります。
リンゴ、バナナ、ほうれん草、水、はちみつの順にボトルに入れてブレンドします。

●リンゴのヨーグルトスムージー

【材 料】リンゴ 100g／ヨーグルト(無糖) 75g／牛乳 75ml／はちみつ 適量

【運転時間】約25秒

【作 り 方】リンゴは皮をむいて芯を取り除き、1cm角にカットします。
ヨーグルト、牛乳、はちみつと一緒にボトルに入れてブレンドします。

※氷をご使用の場合は、2cm角以下のものを30gを超えない程度に入れてください。

ミルボトルレシピ

●ゴマ(顆粒・粉末)

【容 量】煎ったゴマ15gまで

【運転時間】約5秒

【用 途 例】食材にふりかけて、または和え物に混ぜてお召し上がりください。

●コーヒー(顆粒・粉末)

【容 量】焙煎したコーヒー豆20gまで

【運転時間】10～30秒

【用 途 例】お好みで運転時間を調整してください。

●カットわかめ(顆粒)

【容 量】よく乾燥したもので1cm角を10gまで

【運転時間】約5秒

【用 途 例】ふりかけなどでお召し上がりください。

●はなかつお(顆粒)

【容 量】よく乾燥したものでミルにいっぱい

【運転時間】約5秒

【用 途 例】ふりかけなどでお召し上がりください。

●焼きえび(顆粒)

【容 量】よく乾燥したもので1cm角を10gまで

【運転時間】約5秒

【用 途 例】ふりかけなどでお召し上がりください。

運転時間は材料の状態、お好みにより異なりますので、目安にしてください。
材料の分量はお好みに合わせてください。

注 意

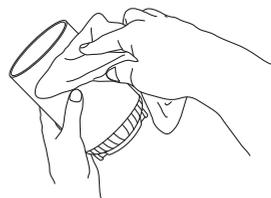
●連続動作時間またはモーター負荷がかかり過ぎると、保護装置が働き、一時的に使用できなくなる場合があります。運転が停止した場合は、30分以上休ませてください。

お手入れのしかた

電源プラグをコンセントから抜き、本体が充分冷えてからお手入れしてください。

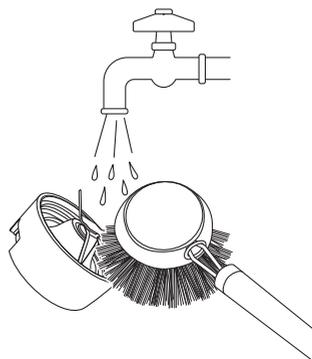
■本体

- 水洗いはできません。
- 柔らかい布を薄めた食器用中性洗剤に浸し、固く絞ってから汚れなどを拭き取ります。



■カッターホルダー

- ぬるま湯を流しながらブラシなどで汚れを落とし、十分にすすいだ後、水気を拭き取りよく乾燥させます。



注意

- カッターを直接触らないでください。けがの原因となります。
- パッキンの汚れが気になる場合は、取り外して洗った後、正しく取り付けてください。
※パッキンは色移りすることがありますが、使用上に問題はありません。

■ボトル・ミルボトル・ふた

- カッターホルダーをボトルから外し、スポンジを使って十分に水洗いします。水切りして水気を十分に拭き取ります。
※樹脂部分は、にんじん・葉菜等の色素が沈着して変色します。スポンジで洗っても完全には取れませんが、使用上に問題はありません。
使用後、早めにお手入れすることで、取れやすくなります。



故障かな?と思ったら

修理依頼の前に、次のことをお確かめください。

| こんな時は | 考えられる原因 | 処置 |
|-----------------|--------------------------|---|
| 音が大きい | 材料の量が多すぎる。 | 材料の量を減らす。 |
| | 材料の切り方が大きすぎる。 | 材料を小さく切り直す。 |
| カッターが回らない | 材料の量が多すぎる、または大きすぎる。 | 材料の量をへらす、または小さく切り直す。 |
| | ボトル・ミルボトルが正しく取り付けられていない。 | ボトル・ミルボトルを正しく取り付ける。 |
| 容器から食材があふれる | 材料の量が多すぎる。 | 材料の量を減らす。 |
| | ねばり気の強い材料を使用している。 | ねばり気の強い材料は使用しない。 |
| | カッターホルダーの取り付けが緩んでいる。 | ボトルにカッターホルダーをしっかりと取り付ける。 |
| カッターが空回りする | ボトルの壁面に材料が張り付いている | ボトルを本体から外して上下に振り、食材を落とす。 |
| | 材料が上下に分離している。 | ボトルを本体から外して上下に振り、食材を落とす。 |
| | 材料が少なすぎる。 | 材料を増やす。 |
| | 材料が大きすぎる。 | 材料を小さく切り直す。 |
| 本体が異常に熱い | 連続動作時間(1分)を超えて使用している。 | 連続動作時間を超えて使用しないでください。熱いと感じたら30分程度休ませて、使用してください。 |
| | 禁止材料を使用している。 | 製品に合った材料を使用する。 |
| 電源プラグが異常に熱い | コンセントの差し込みがゆるい。 | コンセントに原因がある場合があります。最寄の電気店にご相談ください。 |
| 各アタッチメントから異臭がする | 連続動作時間(1分)を超えて使用している。 | 連続動作時間を超えて使用しないでください。異臭を感じたら30分程度休ませて、使用してください。 |
| | 確実に取り付けられていない。 | 正しく取り付ける。 |
| | 材料の量が多すぎる。 | 材料の量を減らす。 |
| | 材料が引っかかっている。 | 引っかかっている材料を取り除く。 |

※必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて確認・処置をしてください。

故障かな?と思ったら(つづき)

| こんな時は | 考えられる原因 | 処 置 |
|--------------------------------|---------------------------------------|---|
| 本体とカッターホルダー裏側の結合部分の周りに黒い粉が付着する | 結合部分はゴム製ですので、使用中の摩耗に伴う現象です。故障ではありません。 | _____ |
| 運転しない | 電源プラグがコンセントに根元まで差し込まれていない。 | 電源プラグをコンセントに根元までしっかり差し込んでください。 |
| | 運転時間が長すぎる。 | 連続動作時間またはモーター負荷がかかり過ぎると、保護装置が動き、一時的に使用できなくなる場合があります。運転が停止した場合は、30分以上休ませてください。 |

※必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて確認・処置をしてください。

仕 様

| | |
|----------|-----------------------|
| 型名 | MM-10 |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力 | 150W |
| 電源コードの長さ | 0.8m |
| 本体サイズ | 直径73×高さ262mm |
| 本体質量 | 約475g |
| 材質 | 本体：ABS樹脂、ボトル：PCTG |
| ボトル容量 | ボトル：300ml ミルボトル：100ml |
| 定格時間 | 1分 |
| 回転数 | 16,000回/分 |
| 付属品 | ミルボトル、キャップ |

●仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

●この商品は、日本国内用に設計販売しております。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

保証とアフターサービス

保証書

- 保証書は、本書に添付されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日販売店名」などの記入内容をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店又は弊社にご相談ください。

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは………持込修理

- 「故障かなと思ったときは」に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店又は弊社にご連絡ください。
- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店又は弊社で修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店又は弊社にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店または弊社にお問合わせください。

持込み先または送付先

株式会社 太知ホールディングス
サービスセンター

〒110-0005
東京都台東区上野3丁目2番4号秋葉原村上ビル3階
☎ 03-5846-7211

メールでのお問い合わせ

E-mail: taichitky@anabas.co.jp
ホームページ: <https://www.anabas.co.jp>

電話でのお問い合わせ

☎ 03-5846-7211

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 太知ホールディングスは、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを受託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

補修料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

| | |
|-----|------------------------|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。 |

| | | |
|---|----------------|---|
| 愛情点検  | 長年ご使用の機器の点検を | |
| | このような症状はありませんか | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる ●電源コードが傷ついたり、電源コードを動かすと通電しなかったりする ●こげくさい臭いがする ●その他の異常・故障がある |
| | | 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。 |

※本機を廃棄される場合は、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。